

令和 3 年度 さいたま市立西浦和小学校 自己評価書

さいたま市立西浦和小学校

校長 石 田 成 夫 印

1 学校の教育活動について

(1) 令和 3 年度の目標

本年度は、学校教育目標「夢がわき 心もはずむ 西小の子」の具現化に向け、学校経営方針を「よく学び 笑顔いっぱい 一人ひとりが輝く教育の推進」と定めた。これを受け、
＜明るく楽しい学校＞＜成果の見える学校＞＜地域とともに歩む学校＞の 3 点を目指す学校像とし、達成に努めてきた。

(2) 評価項目について

- ・「児童の学力・学習状況」では、全国学力調査の平均点を令和元年度より 5 点アップさせる。
- ・「教員の授業にかかわる評価」では、よい授業アンケートを活用し、4 つの因子のいずれか 2 つ以上にわたりアップさせるように指導する。
- ・「学校安全」では、保健室と連携を取り、けがや事故が発生しやすい場所や時間を教職員や全校児童に周知しけがや事故の件数の 2 割削減を目指すとともに、「心と生活のアンケート」や「学校生活アンケート」を活用し、いじめの早期発見・いじめへの対処を目指す。
- ・「学校における働き方改革」では、「チーム西浦和小」として適正な労働時間の実現を図り、在浩時間を昨年度より 5 %削減させる。

2 教職員及び児童、保護者による評価結果

- ・今年度の全国学力調査の結果は平均点で 4 点減少し、目標を達成できなかった。結果について職員で課題を共有し、指導法の工夫・改善を進めた。
- ・「授業はわかりやすく、楽しい」と回答した児童は 93 %・保護者も 92 %と肯定的に回答していて、工夫された授業が展開していると考ええる。
- ・よい授業アンケートの因子を 2 つ以上、向上できた教職員は 7 割 9 分となり、4 つの因子全てを向上させることができた教職員は 3 割 1 分達成することができた。
- ・けがや事故の件数は、昨年度の 2 学期と今年度の 2 学期を企画すると 2 割 3 分削減できた。いじめについては早期発見に努めたので、件数は倍増しているが、ほとんどが解消し、3 か月の見守りが 1 件残っているだけである。
- ・教職員の在浩時間については、昨年度よりほぼすべての教職員が削減されている。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・考えを書く時間を確保したり、考えを伝え合う活動を充実させたりするなど、「学びの足あと」を残す取組を推進し、児童が自分の考えをもち、自信をもって表現できるようにすることで、学力テストなどの無回答率の改善を図る。
- ・エバンジェリストやタブレットに詳しい教職員から、タブレットの使用法についての研修を全教職員にしてもらうことで、クラスごとの格差をなくすように努める。